

## 地域防災担い手 不足

## 三重 短大と連携

本業と掛け持ちの公務員  
現場で隊員と連携

瀬戸 割引の特典  
岡崎 OBを活用

短大と連携

「開閉の応答があると思う」と、国員を驚かせる動きになる」と語。

同様の取組め組は愛知県外にも広がり、岐阜県でも今年度より、国員向けに商品などを割り引いてくれる「災害事業所」を募集。黒田防諜は「地域ののお店が県民を応援する機運を高めたい」とする。

全国の消防開閉数は年々減少。1950年代に180万戸を超えていた国員は13年には約87万戸まで減った。愛知県でも減少が続き、過去10年間

で議員数は8%減少  
の50年と比べる  
7割減っている。54  
村のうち36自治体で  
定めた定員を割り  
ており、岐阜・三重  
県でもそれぞれ約8  
自治体が定割割れた  
務省消防庁は「地元  
く自営業の人が減っ  
とが要因の二」と  
する。

OB団員や学生を  
る動きもある。聖  
岡崎市は11年度から  
日昼間の火災時にの  
動を限る一機能別消  
員制度」を導入。怪

[illegible]

は、今年度中にも、愛知県消防庁の活動的な存在を確立して、消防団の仕事を補完して紹介する説明会を開く。

つらね、学生の採用にともなう計画だ。

大般大の出身人数は、**「地元の公共経済学」**は「地域の防災と消防団」のすべは大きく、報酬の不足は大きな課題。改革は必要だと指摘。消防団は必要だと指摘。消防団よりも小さな単位で、自主的防災活動とも連携し、総合的な防災力を高め、社会的な責任を担うとしている。